

香南市の道徳教育

家庭・地域と共に

取り組む道徳教育

道徳の時間では、仲間や自分の心と対話することを繰り返しながら、自分がよりよく生きていくためには、どのような心の在り様がよいのか、考えを深めています。

そして、児童生徒が道徳の時間に考え、学んだことが実践力として、生きてはたらくためには、周りの環境がとても大切になってきます。そこで、各学校では、子どもたちがどのようなことを考えて、授業に取り組んでいるか

を知ってもらうために、道徳参観日を設けています。

道徳の授業では、内容について自分の思っていることとありのままに発言できる魅力があります。実際の授業では、思いもよらない発言が飛び出し、子どもたちだけでなく、聞いている教師や保護者も「なるほど」とうなずいたりする場面もあり、子どもの本音が聞けたり、学校以外の日常生活の様子が見えたりします。

定められた教科書のない道徳の時間は、国語や算数・数学などとは違った児童生徒の様子が見られます。

道徳参観日は家族だけでなく地域の人にも参観してもらえます。機会がありましたら、ぜひご参観ください。

道徳の雰囲気

漂う環境づくり

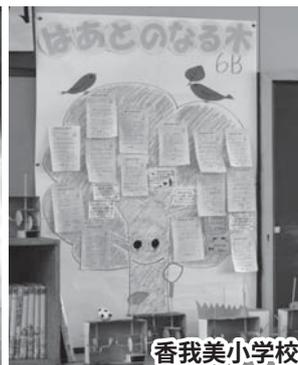
各学校では、道徳の時間に生徒が考えたことをイラストにしたり書き出したりして教室や廊下に掲示しています。

これを先生が道徳の時間以外にも話題として取り入れたり、生徒が休み時間などに見ることで、道徳と日々の生活が結びついていきます。

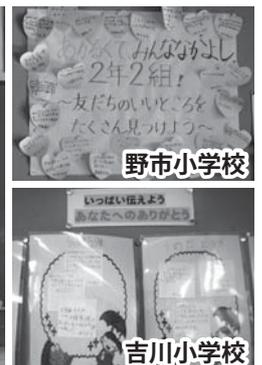
掲示物を見ることで、道徳の時間で感じた自分の気持ちを思い出したり、友だちの思いや考えをより具体的に知ることにつながっています。



岸本小学校



香我美小学校



吉川小学校



▲道徳の時間は、小中学校ともに1年間で35時間(小学校1年生だけは34時間)行われるように定められています。そして、その時間の中で、内容項目をすべて扱うよう、計画的に授業を行っています

教育講演会 開催のお知らせ

香南市が道徳教育を推進していくため、アドバイザーとして招いている畿央大学教育学部教授の島恒生氏が講演会を行います。

市民向けに無料で開催されますのでぜひご参加ください。

日時 平成27年2月10日(火)

19:00~20:30

会場 香我美市民館

講演 「学校・地域・家庭と連携して取り組む道徳教育～地域や家庭の役割～」

講師 畿央大学教育学部教授 島 恒生